

雪洞

糸魚川勤労者山岳会

会長 青木 満 磨

TEL 025-552-9901



(2111)No.61 発行 2019年10月4日



山行記

★山域・山名=魚沼・平標山 1983m、仙ノ倉山 2026m

★山行日=2019年9月29日(日)

★天 候=晴れのち曇り 一時小雨

★山行者=加藤、(報告 and 写真)、渡辺光、田中、他 1 名

▼昨年も計画したがボツになり、あらためて計画して行ってきた。湯沢・元橋登山口には広い駐車場が整備されて有料(600円)となっていた。少し雲が広がっていて肌寒い。しっかり準備をし、標識に従って登山道に入る。樹林帯の中の道は歩きやすく、車道を横断して沢沿いの道を進む。

▼時間とともに登山道にも陽が差し込んできて気持ちがいい。沢沿いの道から未舗装の車道歩きに変わる。お喋りをしながら緩やかに高度を上げて登山道の入口に着く。奥に車が一台駐車していたが、山小屋のものか?小休止して登山道に入る。

▼いきなり階段が出てくる。「所々かな…」と思っていたが、これでもか…と言うぐらい階段が続く。時々切れるくらい。しかも傾斜がきつくと、段差があって足を上げるのが大変な所もある。声をかけあって足を前に出す。ウルシやカエデの紅葉が時々見られるが、まだまだ緑が多い。時々立ち止まって遠くの山並みに視線を移して呼吸を整える。

▼途中、小屋の人だという年配の女性と若い男性が降りてくる。話を聞くと「今日は交代日で下山してきた。2~3週間に1回交代している」「小屋まで20分くらいだよ」「天気がいいから楽しんでください」と。こちらも負けてはいられない。息をはずませながら高度を稼ぐ。樹林の切れたところで、左手遠方に大きく真っ平らな山が見えた。今年登った苗場山だ。大きい。

▼ようやく平標山の家の小屋に到着。小屋の前に出ている水でノドを潤し、顔を洗う。冷たくておいしかった。青空が広がり、平標山、仙ノ倉山、谷川方面の山々が見えている。山の斜面を覆う笹原のグリーンがきれいだ。その中に点々と初期の紅葉が見られる。谷川岳から縦走してきたという聴覚障害者3人がいて、盛んに自慢?していた。

▼小屋で森林限界となり、この先は笹原に覆われた草原を歩くが、またしても階段歩きとなる。青空に励まされ、足を止め、周囲を見渡しながら呼吸を整える。中間付近では階段がと切れてヤレヤレと思っているとまた階段。高度は稼ぐがきつい。ようやく平標山山頂に登り立つ。ホッとしました。休憩。

▼山頂からは大パノラマ。遠くは富士山から上州、魚沼の山並みが一望できる。山肌には錦秋も見られる。平標山最高!。しかし、ここで終わりではない。近くて遠い仙ノ倉山が目の前に待っている。一旦大下りして二つのピークを越



平標山山頂にて

えて行かなければならない。気合を入れなおして再スタート。

▼道は階段、ガレ、ザレで歩きにくい。下りきった所は広大な草紅葉の草原となり、斜面にはドウダンツツジなど部分的だが紅葉が見られる。大きなアップダウンを2回。仙ノ倉山への最後の登りが階段になっていて、急ぎ足で前に出ようとしたら階段につまずいて前に倒れ、ヒザを強打。痛かった(+o+)が、大事に至らなくてよかった。なんと階段の多い山か♥

▼ようやく仙ノ倉山山頂に立つ。ハイタッチして労をねぎらい合う。ここも360度の大パノラマ。ここから谷川岳への縦走路も見え、上州方面の山々が一望。平標山や苗場山もよく見える。秋空に雲が広がり始めている。少し風があってさわやか。ここで絶景を楽しみながらランチタイム&休憩。ここの斜面も笹原のグリーンと紅葉や草紅葉とのコントラストが鮮やか。7~8人の登山者があがってくる。

▼しっかり楽しんで仙ノ倉山を後にして往路を戻る。疲れもあってアップダウンの登りはきつい。二つのピークを越えて草紅葉の草原に入ると、道のわきにハクサンイチゲー輪が頑張っていて咲いていた。平標山への登りがきつく、何回か足を止める。周囲の景色に励まされて平標山まで戻って休憩。この先も長い下りが待っている。山頂からのぞくと蛇行した登山道が松手山付近まで見えている。

▼仙ノ倉山を見納め、下山口に向かってスタート。しばらくは歩きやすい道が続き、景色や紅葉を楽しみながら下る。急傾斜の所は階段がジグザグに付けられていてよかったが、ザレた所もあって慎重に足を運ぶ。眼下の平坦になった所に道標らしきものが見えたが、着いてみると七合目。「こんなに歩いたのにまだ七合目だ…(>_<)」。振り返ると平標山の斜面が錦秋となってきれいだった。

▼ようやく半分の五合目が過ぎ、松手山1613mのピークで平標山を見送ってから



樹林帯に入る。送電線の巨大な鉄塔が立つ四合目を過ぎると急傾斜が続き、岩があったり、ロープが付けられていたりとなかなか厳しい。雲行きが怪しくなったと思ったら、三合目を過ぎたあたりから雨が降り出す。林の中だったのでほとんど濡れずにすむ。

▼松手山からは樹林帯で変化のない急傾斜が続き、最後は小さなジグザグを何回も繰り返して嫌気がさしてきた頃、ようやく下山口にたどり着く。いつの間にか雨は止んでいた。少し移動して駐車場に戻って長い歩きが終わる。背中のザックから解放され、靴を脱いでホッとすむ。

▼21年振りに訪れた。大変な山だということは承知していたが、歳のせいもあるが特に下りは厳しかった。しかし、想定以上の天候に恵まれ、仲間と楽しむことができてよかった。同行者に感謝♥

▼タイム＝元橋登山口 7:00…登山口 8:15…9:20 平標山の家 9:30…10:35 平標山 10:45…11:45 仙ノ倉山 12:25…13:10 平標山 13:20…松手山 14:40…15:50 元橋登山口
(所要時間上り 4 時間 45 分、山頂 40 分、下り 3 時間 25 分)

